



# TOKYO ROPPONGI ROTARY CLUB

東京六本木ロータリー・クラブ



心の花を咲かせよう  
がんばろう日本!

東京六本木ロータリー・クラブ会長

2012年4月2日発行 第309号

2011-2012年度 No. 32

## WEEKLY REPORT



こころの中を見つめよう 博愛を広げるために  
国際ロータリー・クラブ会長

### 本日のプログラム

平成24年4月2日

#### 卓話 『インドとブータン』

元在インド大使

榎印度総合研究所 代表

株式会社サン・アンド・サンズ・コンサルタンツ 代表取締役

榎 泰邦 様

#### プロフィール

1946年	東京生まれ	2003年	在インド大使
1968年	外務省入省	2007~09年	三井物産顧問
1997年	文化交流部長	2009年	榎印度総合研究所 代表
2000年	中近東アフリカ局長	2011年	株式会社サン・アンド・サンズ・コンサルタンツ 代表取締役
2001年	在南アフリカ大使		

### クラブからのお知らせ [3月26日]

#### ● 安井会長挨拶

- ・本日の松島さんの卓話を楽しみにしております。
- ・先日、メーキャップにお越しくださいました方から「六本木RCはお食事が美味しいことと、例会の雰囲気がとてもアットホームで好感が持てます。メーキャップに来られる方が多いのも良く理解できます。」との嬉しいお言葉を頂戴しました。会員の皆様も3月、4月は特に忙しいと思いますが、是非週一回の例会を楽しみにお出かけください。

#### ● 片岡幹事報告

- ・第2520地区の宮城県山田ロータリー・クラブから、山田町の小中学生が東日本大震災を題材にして書いた作文集を頂きました。回覧しますので、どうぞ一読下さい。

#### 3月の記念日のお祝い



- 松島正之さん「奥様のお誕生日」  
松木隆央さん「ご長女のお誕生日」  
関口明博さん「結婚記念日」  
今村道子さん「結婚記念日」(例会は欠席)



平成24年3月5日  
卓話『茶の湯と金沢』  
茶道裏千家今日庵 業躰部講師  
奈良 宗久 様



今日は金沢とお茶ということでお話をさせていただきます。

信長はお茶の文化に政治を付け加える形で茶の湯を取り込みます。その頃の道具は唐物と言いまして中国の水墨画、青磁、天目茶碗などの宝物を並びたてるという、そういう時代です。秀吉もまたお茶をすすめ、当時の正親町天皇、後陽成天皇にお茶を献する礎を築きました。その頃台頭したのが千利休で、利休はそれまで中国のものを使っていたところから国風化、日本のものを使う侘茶に変わっていきます。備前の茶入れを使い、天目茶碗も豪華なものより少し侘びた風情のもの、部屋も広間から一客一亭しか入れない茶室に変わります。秀吉は黄金の茶室、利休は小間の茶室という具合に段々と対立するようになるわけですね。

その頃、秀吉の政権の一役を担っていた前田利家は千利休に茶を学び、秀吉とともにお茶を引き継ぎます。2代藩主の利長は利休七哲の一人で、どんどんお茶が金沢の街に浸透します。富山の高岡に瀬戸の陶工を呼び、お茶に使うものを作ったりしました。金沢でも藩の政策として茶道具などの工芸品が盛んになります。3代藩主の利常の時、特に金沢の文化が花開いたと言われています。奥様は徳川秀忠の娘、珠姫。お母様はお江です。その珠姫の妹は東福門院、後水尾天皇の奥様で、ここで加賀藩が京都、江戸と深くつながるわけです。また利常の娘富姫が京都の八条宮家、今でいう桂宮に嫁ぎまして、桂離宮を修復するに当たり前田家がかなりの寄進をしたと言われています。

徳川の世が治まるに連れ前田家も武から文に

移行していきます。京都から蒔絵師や狩野探幽の弟子を呼んだりしています。5代藩主綱紀公になるとお細工所を設け、蒔絵、金具、象がん、能面などを藩直営の工房として運営します。また文庫を作り日本、中国、朝鮮半島の書物を整備します。新井白石が加州は天下の書府なりというほど加賀に書籍、工芸品があふれる時代です。千利休のひ孫にあたる千叟宗室を京都から呼び、金沢に住まわせていますが、そのときに私どもの初代長左衛門も京都からまいりということになるわけです。

金沢がなぜここまで工芸都市になったかと申しますと、やはり茶の湯という文化の歴史がかなり深いということになります。明治になった時、東京、京都には西洋の文化が入って日本の文化が大打撃を受けたわけですが、金沢は前田家の文化が色濃く残っており、日本中の当時の文化財級の道具も金沢の地にかなり舞い込んでいます。作り手ももちろんですが、金沢では多くの旦那衆もお茶を嗜みます。財産の3分の1は茶道具や書画に当てるというのが昔からの金沢の習わしといわれる所以だと思います。

お茶は生活の延長線と言われます。お茶をされれば時の移ろい、四季の移ろいも分かりますし、工芸がお茶の中には全て入っていますので、お菓子、塗り物、焼き物を楽しみながら深めしていくことができます。

ありがとうございました。





平成24年3月12日  
**卓話 『アジアの経済情勢』**  
 株式会社フジヒロ商会 代表取締役社長  
 東京六本木ロータリー・クラブ 会員  
**篠塚 博 様**

昨日3月11日で東日本大震災より早いもので一年が経過致しました。改めまして被災地の皆さまへ心よりお見舞い申し上げます。

国によって政治・経済・文化・宗教等それぞれ相違はありますが、中国、シンガポール、韓国などは、国を挙げて経済の発展、自国民の生活向上、世界における自國の地位向上に努めています。

とくに発展目覚ましい中国は、上海を戦前のようにアジアの商業の中心に据えるという中国共産党政府の国策によって動いております。中国大陆を統治するには7つの国に分割するのが言語及び文化・宗教の点からも最良という説があります。中国との協調が世界経済に取って大切なのは十分理解致しますが、共産党一党支配の中国には常識が通用しないのです。中国内の国際テレビ局では中国政府にとって不都合なニュースは、画面を切って、カットすらしています。それを日本のマスコミは日本・米国と同じ自由の国かのように報道するのです。

経済にとって非常に大切な為替問題にしても、日銀の副総裁は円と中国人民元を直接交換出来る市場を整備する必要があると指摘しておりますが、中国当局、及び中国企業の貿易決済におけるドルへの過度な依存とその保有に伴う為替リスクの軽減にはなりますが、円と元の交換市場をいくら作っても、日本当局、及び日本企業の為替のリスクの軽減には成りえないと思います。米ドルの決済がほとんどのアジア地域において、日本の大手企業にUS\$決済を日本円決済にするように指導するのが、アジア進出企業の為替リスク軽減になるのではと考えます。

中国におけるビジネスの問題点をいくつか紹介すると、まず土地使用権の問題(50年リース)、そして各地で頻発する増税17%(営業税)のごまかし、政府が工場等の立ち退きを求める場合は、従わざるを得ない件等多々ございます。よって、政府間交渉をきちんと行い、日本政府は現状の把握に努めて欲しいものです。

韓国についてですが、李明博大統領の任期満了が近いこともあり、慰安婦問題が最近とみにとりざたさ

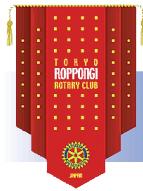
れておりますが、自動車、電機産業における、現代自動車、三星電子等、世界でのシェア拡大が話題になっております。韓国人の知力、活力の源泉はどこから出てくるかです。三星の会長直轄の秘書室が世界各国よりIQの高い人材を1,500人、報酬は約2,000万円で集めたという話もあります。今日の飛躍の一因と考えます。戦略を持ってやっている証の一つです。

そして、ギリシャ問題等のEU・ユーロ危機を教訓に1990年代のアジア通貨危機の再来を防ぐために日韓両政府は2011年10月通貨スワップ協定を従来の130億ドルから700億ドルに増額したのです。金融市場の混乱時に日本がドルや円を融通する金額を拡大し韓国の外貨不足やウォン相場急落を防ぐ体制作りをしたのです。それを日本のマスコミは通貨協定を締結と報道したのです。この協定は日本が万一のときは資金を融通するということで韓国から資金を融通してもらうわけではないのです。それなのに、日本の国債はこのままで暴落の危機にあるとマスコミが報じているのです。

とにかく世界のリーダーとしての日本の地位を維持する為には、経済復活が必要です。その為には、消費税アップの前にコスト削減に再度取り組み、単年度決算を見直し、国家の貸借対照表を作成し国家予算(一般会計と特別会計の一本化等)そのものの見直しが必要です。その他宗教団体への課税、農地の宅地並み課税、税効果会計による大手都市銀行の税金未払い等早急に是正が必要だと痛感致します。

最後に日本の借金が1,000兆円になったと今にも日本がデフォルトするかのような報道が連日なされておりますが、日本は他国から借金をしているわけではなく、国民の預金も多いのです。重ねて消費税アップの前に、全てのシステムを根底から見直す必要があると考えます。





## ■ニコニコBOX情報

隅田 幸男さん

まだ寒いので、皆様の健康を祈念して。

安間 百合子さん

松島さん、本日の卓話、たのしみにしておりました。  
よろしくお願ひ致します。

中川 勉さん

梅の花がきれいですね。

松木 隆央さん

本日は、娘の13才の誕生日です。大きくなるにつれ、  
性格が強くなってきているようです。

中山 祥弘さん

松島さんの卓話、感謝。

宇佐見 千嘉さん

お寒さは残っておりますが、春らしくなってまいりました。  
本日の卓話、楽しみにうかがわせていただきます。松島正之様、よろしくお願ひ申し上げます。

安井 悅子さん

脇若さん、ようこそ、お越し下さいました!

渡辺 美智子さん

やっと春らしくなりました。桜が待ちどうしいです。  
松島さん、本日の卓話、楽しみにしております。

脇若 英治さん

春らんまん、お久しぶりです。

渡邊 滋さん

もう春でしょうか。  
「春もやや けしきととのふ 月と梅」芭蕉



3月26日 合計 41,000円  
累計 1,532,000円

## ■次のプログラム

平成24年4月9日

卓話 『佛教教典や行事に見られる健康法』

真言宗豊山派大本山 護國寺  
貫首

岡本 永司 様

### プロフィール

昭和2年11月 生まれ  
昭和25年3月 大正大学宗教学部卒業  
昭和44年10月 大本山護國寺 執事長就任  
平成5年11月 大本山護國寺 貫首就任 現在に至る  
東京小石川IRC会員

## ■近況報告

脇若英治さん



この6月で日本を離れて3年になります。  
ビル・クリントン財団での環境問題のプロジェクトもやっと軌道に乗りそうです。ヨーロッパで先駆けとなるでしょう。  
アメリカ、アジアなどは状況は違いますが、もう少し取り組もうと思っています。  
皆さんにお会い出来て嬉しいです。

## 3月26日の例会出席率(暫定)

- ・会員の例会出席数(出席率) 30名 (63%)
- ・ゲスト・ビジターの参加者数 6名

※ メーキャップを含めていない暫定の人数です。



この印刷に使用している用紙は、森を元気にするための間伐と間伐材の有効活用に役立ちます。

## 東京六本木ロータリー・クラブ

会長 安井 悅子 幹事 片岡 雅敦

広報・週報  
委員長 渡辺 美智子

広報・週報  
副委員長 関口 明博

事務局) 〒106-0032 東京都港区六本木6-10-3 グランドハイアット東京内 TEL:03-4333-8773 URL:<http://www.tokyoroppongi-rc.jp/>